

競技会時の緊急事態等への対応について

徳島陸上競技協会

競技会を開催時に緊急地震速報発表が発表された場合の対応

- 1) 緊急地震速報が発表され「緊急地震速報の警報」が鳴った
 - ①「緊急地震速報」の後は直ぐに身を守る行動をとる。また取るように促す。
各パート審判員の呼びかけと「アナウンス」での周知。
 - ②揺れがおさまったら「緊急事態です。直ちに身を守りながら、安全な場所へ避難してください。」
大型映像装置使用時は、映像スクリーンへ表示する。・・・総務又は総務員から指示
どちらも審判員に被害が少なく、機材が動いている場合に行う。
- 2) 各パートでの審判員の安全確認後に競技者や観客への避難指示と誘導
 - ①建物から離れ広い場所へ誘導・指示する。
フィールド内やスタジアムの外の広い場所へ指示・誘導。(各パートでの対応)
地震発生後の建物倒壊等の心配のない安全な場所へ誘導する。
 - ②避難者の一斉の避難による雑踏事故を可能な限り防ぐため、大きな声での指示と誘導を行う。
 - ③各パート主任又は補佐可能な審判員は避難の状況を把握し、総務及び総務員へ連絡する。
- 3) 救急・消防等外部機関への連絡及び対応
 - ①総務、総務員を窓口として施設管理者及び救急対応や災害状況を連絡する。
 - ②競技会再開の可能性があれば、対処を検討し、アナウンス等で連絡周知する。

<避難行動の要点と優先順位>

- 1 自分の安全確保と目の選手・生徒等の一時避難・誘導を最優先する。
- 2 自身の引率選手・生徒の安全確認と避難を行う。

「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合は、次のように対応することとする。

- 1) 「熱中症特別警戒アラート」発表された時の本協会の基本的姿勢について
 - ①「熱中症特別警戒アラート」は前日の午後 2 時頃までに気象庁・自治体等から発表される。
・本協会主催の競技会の場合は中止とする。
・主催者がある又は共催団体(高体連・中体連等)がある場合は、その団体の意向を確認し予定どおり開催するかどうかを決定する。
 - ②競技会中止決定の連絡方法
・パート主任(LINE による)へ連絡後、各審判員へ連絡する。また県陸協HPに掲載連絡する。
・参加者・チーム代表者への連絡は、競技会担当者から行う。
- 2) 中止決定後の対応
 - ・代替え開催日の調整。当日の予約物(お弁当等)の取り消しや変更。
 - ・参加料の返金等。

熱中症特別警戒アラート(熱中症警戒情報)の概要(キーマッセージ)

- 広域的に過去に例のない危険な暑さ等となり、人の健康に係る重大な被害が生じるおそれがあります!!
- 自分の身を守るだけでなく、危険な暑さから自分と自分の周りの人の命を守ってください!!
 - 具体的には、全ての方が自ら涼しい環境で過ごすとともに、高齢者、乳幼児等の熱中症にかかりやすい方の周りの方は、熱中症にかかりやすい方が室内等のエアコン等により涼しい環境で過ごせているか確認してください。
 - また、校長や経営者、イベント主催者等の管理者は、全ての方が熱中症対策を徹底できているか確認し、徹底できていない場合は、運動、外出、イベント等の中止、延期、変更(リモートワークへの変更を含む。)等を判断してください。
- 今まで普段心掛けていただいている熱中症予防行動と同様の対応では不十分な可能性がありますので、今一度気を引き締めていただいた上で、準備や対応が必要です。

熱中症特別警戒アラートとは

- 都道府県内において、全ての暑さ指数情報提供地点における、翌日の日最高暑さ指数(WBGT)が35(予測値)に達する場合等に発表します。都道府県の枠を超えて暑い状況等が想定されますので、近隣の都道府県においても注意が必要な可能性があります。
- 自助で熱中症予防行動をとることが基本ですが、気温が特に著しく高くなることにより重大な健康被害が生じるおそれがある場合には、自助による熱中症予防行動が難しい場合もあることから、家族や周囲の人々による見守りや声かけ等の共助や公助が重要となります。
- 自助を原則として、個々人が最大限の予防行動を実践するとともに、共助や公助として、個々人が最大限の予防行動を実践できるように、国、地方公共団体、事業者等全ての主体において支援するような状況です。
- 事前に市町村長が市町村(市町村には特別区を含む。)の区域内に存する施設を指定暑熱避難施設として指定している場合には、熱中症特別警戒情報が発表される際、当該指定暑熱避難施設が開放されます。
- なお、熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性に対する「気づき」を促すものとして、府県予報区等内において、いずれかの暑さ指数情報提供地点における、翌日・当日の日最高暑さ指数(WBGT)が33(予測値)に達する場合に発表します。
- 個々の地点の暑さ指数(WBGT)は、環境によって大きく異なりますので、黒球の付いたWBGT測定機器等を用いて独自に測定することをお勧めします。